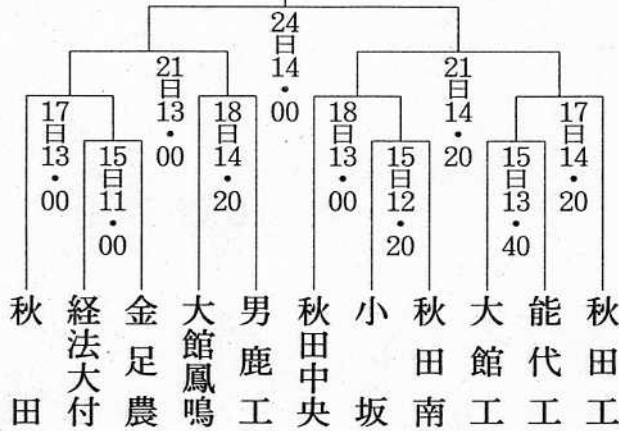


秋田、秋工 軸に展開

高校ラグビー県予選



会場：秋田市八橋球技場

ラグビー 来月15日開幕、11校激突

第86回全国高校ラグビー大会県予選の組み合わせ抽選会が14日、秋田市のアキタパークホテルで行われ、出場11校の対戦カードが決まった。10月15日に秋田市八橋球技場で開幕、24日に決勝を行う。抽選は6月の全県高校総体で4強入りした秋田、秋田工、秋田中央、男鹿工をシード校とし、残り7校の主将がくじを引き、対戦が決まった。優勝争いは、第1シード秋田、第2シード秋田工を秋田中央、男鹿工が追う展開となりそうだ。

全県総体優勝の秋田は、開ラグビーからの得点力大柄な選手は少ないものも着実に向上しており、の堅守を誇り、鋭い出足3年ぶりの全国大会出場で相手の攻撃をつぶす。夏以降、テンポのいい展開にむきだ。

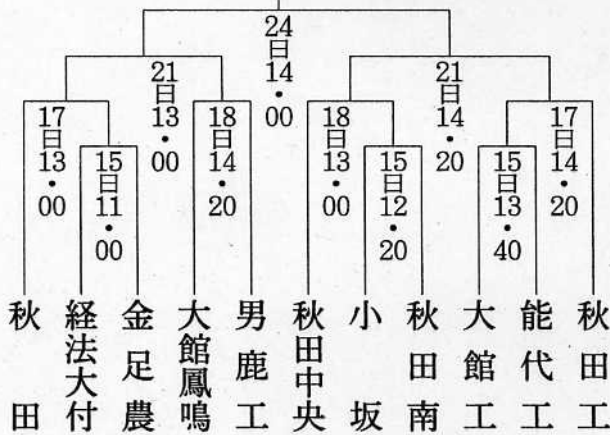
昨年の覇者・秋田工もFW、BKともディフェンスは堅く、失点を最小限に食い止めることがで



組み合わせ抽選で対戦チームのユニフォームを確認する各校主将―秋田市内のホテル

つている。過去2年決勝で敗れ、雪辱に燃える秋田中央、要所で強烈なタックルを繰り出す男鹿工も虎視眈々(たんたん)と頂点を狙う。開会式は10月15日午前10時半から秋田市八橋球技場で行い、選手宣誓は前年度優勝校の秋田工の夏井大輔主将(3年)が務める。

高校ラグビー県予選



会場：秋田市八橋球技場

あす開幕 八橋球技場 追う秋田中央、男鹿工

秋田、秋工軸にV争い

第86回全国高校ラグビー大会県予選が15日、秋田市の八橋球技場で開幕する。出場は昨年と同じ11校。全国大会（12月27日～来年1月7日・東大阪市花園ラグビー場）の出場権を懸け、熱戦を展開する。開会式は15日午前10時半から同球技場で行い、選手宣誓は前年優勝校の秋田工・夏井大輔主将（3年）が務める。優勝争いは、第1シードの秋田、第2シードの秋田工を昨年準優勝の秋田中央や男鹿工が追う展開が予想される。

6月の全県総体を3年ぶりに制した秋田は、セツトプレーに素早い球回しを絡めた展開ラグビーを得意とする。体格の大きな選手は少ないが、各選手とも出足が鋭くディフェンスも堅い。ただ選手層が薄い分、大会中の負傷をいかに防ぐかが優勝への鍵を握りそうだ。3連覇を狙う秋田工は、攻守のバランスが取れている。伝統的なFWの強さに加え、BKには川辺勇斗（3年）ら突破力に優れた選手がそろい、攻撃パターンは充実している。防御面では前線での激しいタックルが

持ち味。ターンオーバーからの攻撃も大きな武器だ。秋田中央は、FW陣に

昨年のような重量はないが、スクラム、モールが押し合いでは簡単に負けない強さがある。中川陽介（3年）らBK陣も豊富な運動量を誇り、ゴールラインに迫る。順当にいけば秋田と準決勝で対戦する男鹿工も、気迫あふれる強烈なタックルが身上。秋田のテンポのよい球回しにどう対応するか見ものだ。

目指せ花園!!

11校'トライ

高校ラグビー 県予選

※メンバー表は左から氏名、学年、出身中学校、身長、体重、◎は主将

秋 田

部長 三浦義則 監督 近藤周平

鍵握るセットプレー

今年、主将の吉田、副将の柿崎を中心に「がんばれる」3年生がそろった。春シーズンはディフェンス力だけで勝ち上がったが、夏場以降の練習で、それまで課題としていたアタック力とゲームメイクを整備してきた。セットプレーの精度が勝負の鍵を握る。非常に選手層が薄く、少数精鋭で臨む大会となるが初戦から一戦一戦、気負わず大事に戦い、3年ぶりの花園を目指す。



(近藤周平監督)

83キロ	◎	王和南	176	宇野	北	176	宇野	北
78キロ	◎	山脇秋	176	宇野	北	176	宇野	北
88キロ	◎	◎	176	宇野	北	176	宇野	北
73キロ	◎	◎	175	宇野	北	175	宇野	北
85キロ	◎	◎	173	宇野	北	173	宇野	北
75キロ	◎	◎	172	宇野	北	172	宇野	北
76キロ	◎	◎	182	宇野	北	182	宇野	北
63キロ	◎	◎	168	宇野	北	168	宇野	北
64キロ	◎	◎	170	宇野	北	170	宇野	北
75キロ	◎	◎	176	宇野	北	176	宇野	北
74キロ	◎	◎	178	宇野	北	178	宇野	北
73キロ	◎	◎	168	宇野	北	168	宇野	北
70キロ	◎	◎	168	宇野	北	168	宇野	北
85キロ	◎	◎	177	宇野	北	177	宇野	北
77キロ	◎	◎	168	宇野	北	168	宇野	北
68キロ	◎	◎	175	宇野	北	175	宇野	北
75キロ	◎	◎	178	宇野	北	178	宇野	北
98キロ	◎	◎	175	宇野	北	175	宇野	北
68キロ	◎	◎	175	宇野	北	175	宇野	北
70キロ	◎	◎	175	宇野	北	175	宇野	北
65キロ	◎	◎	175	宇野	北	175	宇野	北
65キロ	◎	◎	175	宇野	北	175	宇野	北

経法大付

部長 佐々木俊作 監督 篠内洋平

タックルの練習十分

今年も新入部員の数に恵まれ、大会に参加することができた。トンガからの留学生2人もチームに溶け込んでおり、チームワークのよさが特徴である。特に際立った選手はいないが、得点力不足を補い、失点を抑えるための低く激しいディフェンスを心掛け、タックルの練習を重点的に行ってきた。全員がしっかりとタックルを決め、最後まで集中力を切らさないよう全員ラグビーで挑みたい。



(佐々木俊作部長)

88キロ	◎	◎	172	宇野	北	172	宇野	北
65キロ	◎	◎	173	宇野	北	173	宇野	北
92キロ	◎	◎	184	宇野	北	184	宇野	北
79キロ	◎	◎	192	宇野	北	192	宇野	北
89キロ	◎	◎	175	宇野	北	175	宇野	北
67キロ	◎	◎	175	宇野	北	175	宇野	北
65キロ	◎	◎	175	宇野	北	175	宇野	北
82キロ	◎	◎	168	宇野	北	168	宇野	北
60キロ	◎	◎	173	宇野	北	173	宇野	北
65キロ	◎	◎	167	宇野	北	167	宇野	北
65キロ	◎	◎	172	宇野	北	172	宇野	北
77キロ	◎	◎	165	宇野	北	165	宇野	北
75キロ	◎	◎	162	宇野	北	162	宇野	北
63キロ	◎	◎	176	宇野	北	176	宇野	北
65キロ	◎	◎	185	宇野	北	185	宇野	北
102キロ	◎	◎	180	宇野	北	180	宇野	北
92キロ	◎	◎	160	宇野	北	160	宇野	北
55キロ	◎	◎	177	宇野	北	177	宇野	北
73キロ	◎	◎	165	宇野	北	165	宇野	北
60キロ	◎	◎	170	宇野	北	170	宇野	北
66キロ	◎	◎	165	宇野	北	165	宇野	北
55キロ	◎	◎	175	宇野	北	175	宇野	北
60キロ	◎	◎	168	宇野	北	168	宇野	北
60キロ	◎	◎	168	宇野	北	168	宇野	北
68キロ	◎	◎	168	宇野	北	168	宇野	北
85キロ	◎	◎	168	宇野	北	168	宇野	北

金足農

部長 関谷洋之 監督 淡路直明

「戦う集団」なり切る



今年のチームは、昨年のメンバーが1人しか残らず、春先から苦戦。夏合宿、遠征などで強化してきたことを出し切り、一戦必勝で戦いたい。FWは、昨年の大会を経験したL.O松橋を軸に、主将渡辺、ナンバー8栗田らを突破口として戦いたい。BKは、SH石川がゲームメークし、若いBKに速く生きたボールを供給し、トライを取りたい。勝敗の鍵は、「戦う集団」になり切ることである。

(淡路直明監督)

原田	172	キ
佐藤	164	キ
佐藤	169	キ
佐藤	173	キ
佐藤	192	キ
佐藤	166	キ
佐藤	177	キ
佐藤	170	キ
佐藤	168	キ
佐藤	165	キ
佐藤	168	キ
佐藤	171	キ
佐藤	176	キ
佐藤	173	キ
佐藤	163	キ
佐藤	173	キ
佐藤	177	キ
佐藤	172	キ
佐藤	179	キ
佐藤	163	キ
佐藤	166	キ
佐藤	167	キ
佐藤	164	キ
佐藤	153	キ

大館鳳鳴

部長 高野望 監督 成田毅志

守備と集中力を強化



昨年のように傑出したプレイヤーがない分、全員で戦うという意識がみられる。全県総体、県体では接点での激しき、後半の集中力が課題となり、チーム全体でその課題を克服するための努力をしてきた。得点力が低いため、どれだけ失点を少なくできるかがポイント。とにかく、ひたむきに粘り強く守り、少ないチャンスを生かしたい。気力、体力ともにピークの状態、試合に臨みたい。

(成田毅志監督)

浅田	179	キ
石田	175	キ
石田	172	キ
石田	180	キ
石田	176	キ
石田	180	キ
石田	172	キ
石田	175	キ
石田	170	キ
石田	177	キ
石田	173	キ
石田	178	キ
石田	174	キ
石田	174	キ
石田	182	キ
石田	175	キ

男鹿工

部長 半沢一哉 監督 内藤徳男

巻き返し誓い猛練習



昨年の新人戦敗北以来、巻き返しを誓い、厳しい合宿を繰り返してきた。どのチームとも対等以上に戦える力はあるが、公式戦ではその力を出し切れていない。しかし、今大会は精神面でも充実し、本来の力を発揮してくれると期待している。2回戦の大館鳳鳴、準決勝での対戦が予想される秋田にFWの前進とチーム一丸となったタックルを浴びせ、ここ数年遠ざかっている頂点を目指したい。

(内藤徳男監督)

木暮	174	キ
石真	170	キ
石真	182	キ
石真	180	キ
石真	175	キ
石真	174	キ
石真	170	キ
石真	179	キ
石真	168	キ
石真	178	キ
石真	172	キ
石真	173	キ
石真	173	キ
石真	165	キ
石真	177	キ
石真	169	キ
石真	173	キ
石真	168	キ
石真	177	キ
石真	174	キ
石真	176	キ
石真	167	キ
石真	164	キ

秋田中央

部長 船山毅 監督 古谷和義

春シーズンの結果を真摯(しんしん)に受け止め、武田主将を中心に、例年以上に苦しい練習を乗り越えてきた。FWは軽量で個々の強さはないがスクラム、モールなどユニットで強さを発揮する。BKは運動量抜群のS.H大森が攻守の要。積極的にボールを動かし、WTB中川らを走らせた。昨年、一昨年と決勝で悔しい涙を流してきた。創部60周年という節目の年に、花園出場の花を添えたい。

(古谷和義監督)

ユニットで強さ発揮



尾藤野田	173	宇野	86
七尾	173	御勝	76
佐小	174	③	92
武	177	③	78
奈	179	③	87
彦	170	③	75
山	172	③	80
安	182	③	85
大	165	③	65
奈	173	②	70
奈	170	③	68
大	171	③	66
奈	157	②	55
奈	172	②	65
奈	170	②	84
奈	171	③	80
奈	171	③	87
奈	176	③	77
奈	183	②	78
奈	166	②	60
奈	178	②	65
奈	171	①	60
奈	172	①	60

小坂

部長 吉原圭作 監督 山口清彰

学校創立90周年の記念の年に当たり、初勝利を目指して部員一同ひたむきに練習している。初出場からこの3年間は初戦敗退となつてはいるが、3年生は最後の試合での勝利に燃えている。技術的なレベルはまだまだ低いですが、気迫あふれるタックルでディフェンスに当たり、少ないチャンスを生かして初勝利を目指す。初戦にすべてををかけ、さわやかにノーサイドの笛を聞きたい。

(山口清彰監督)

初勝利へチーム一丸



坂	170	②	63
小	175	③	70
③	170	③	75
①	170	①	62
①	173	①	68
③	170	③	64
③	173	③	75
③	172	③	70
③	175	③	50
③	175	③	55
③	169	③	63
③	165	③	60
③	162	③	60
③	175	③	112
③	178	③	112
③	168	③	88
③	166	③	70
③	160	③	56

秋田南

部長 斉藤正一 監督 沢木賢一

今年は2、3年生が11人しかいないため、1年生の成長が鍵を握る。チームは主将秋元を中心にまとまっております、核となるPR遠藤、BK鈴木、岡部がゲームメイクできれば善戦できる。3年生7人がどこまで体を張れるかが勝敗を左右する。1年生ながら俊足の桜田のランにも期待したい。器用な選手はいないため、接点で勝負。少しでも前に出る戦いで勝負に挑みたい。

(沢木賢一監督)

一歩でも前を日指す



佐	178	①	100
元	168	③	65
藤	173	③	91
元	182	③	72
木	175	③	65
浦	171	③	71
原	172	③	73
越	171	③	73
南	167	③	65
大	178	③	78
平	162	③	58
憲	178	③	66
正	173	③	76
大	167	③	60
文	170	③	60
平	179	③	86
太	177	③	70
大	173	③	70
人	166	③	54
一	177	③	56
裕	167	③	64
石	176	③	73
智	172	③	65
宏	176	③	52

